電気設備工事特記仕様書【令和6年4月版】	23. 他工事との工事区分	他工事との工事区分は図面に特記なき場合、「各工事の工事区分表」による。	1. 工事範囲	・ 受雷部 ・ 引下げ導線 ・ 接均	也極埋設	1. 工事範囲	・ 配管 ・ 配線 ・ 根	器類	
	24. 保温. 結露防止	外部に面する壁、天井でFP板(スタイロホーム等)打込み箇所に取付ける位置ボックスなどは、保温、結露防止 処理を行う。	宣 2. 受雷部	· 突針 · 棟上導体 · 笠木	(別途) など	2. 監視制御対象設備	· 動力設備 · 受変電設備	・発電設備・	火災報知設備
1. T#A	25. 電線類	本工事では環境配慮の観点から、原則としてEMケーブルを使用するものとする。	保護 3.避雷導線 設	引下げ導線 ・ 構造体利用		中 3. 表示操作盤	壁掛形 ・ 自立形組込み機器 ・		
2. 工事場所			備 4.接地極	※ 接地極埋設 · 構造体利用(測定時其	期 回数)	視	•		
3. 建物概要	26. 合成樹脂製可とう管	合成樹脂製可とう管は、PF管(一重管)とし、温度による分類はタイプー25とする。	5. 測定用補助接地極	• 設置		例 4. 監視制御装置 - 設		・内照式液晶ディスプレー 信号処理装置 ・ 伝送	装置 · 分散処理装置
建物名称 構造 階数 延べ面積(m) 建築面積(m) による用途区分 備 考	27. 二種金属製可とう管	露出箇所 - ビニル被覆あり - ビニル被覆なし いんべい箇所 - ビニル被覆あり - ビニル被覆なし	1. 工事範囲 2. 電気方式	・ 機器類 ・ 高圧 三相3線式 6kV 50Hz	-	1100	・ 中央処理装置 ・ 帳票用印字装置 (・・	補助記憶装置 記録 インクジェット式	装置 ・ 電源装置 写真式)
	- 28. 電線本数, 管路など	プログラス カール (1997) フェール (1997) フェール (1997) フェール (1997) フェール (1997) フィール (1997)	受	・ 低圧 三相3線式 200V ・ 低日 ・ EM-CET38° ・ EM-C	王 単相3線式 100V/200V				
	20. 電泳学数, 目前など	プロエ、のドエ、ペリニーかという人ののページルのではは、 电線へど、 电線や気、 日はかとは、 血目機長いかめと又リ け変更してもさしつかえない。	3. 引込ケーブル 変	· EM-CE38°-3C · EM-C	CE60°-3C .	1. 工事範囲	・ 管路 ・ 配線 ・ 横	基類	
	29. インサート	鋼鉄製とする。なお、床版で保温板打込み部分は、断熱材用インサート(亜鉛めっき製品)を使用する。	4. 配電盤電	屋内形 屋外形 (防塵処理及び結露 キュービクル式配電盤 高圧閉鎖質		2. 電気方式	- 高圧 三相3線式 6kV 50	Hz	
4. 工事種目 (○ロのついたものを適用する。) 建物別及び エ 事 種 別	- 30. 呼び線	長さ1m以上の通線しない電線管には、1.2mm以上のビニル被覆鉄線を通線する。	投 5. 主遮断装置	※ 限流ヒューズ及び高圧負荷開閉器 (PF-S			- 低圧 単相3線式 100/200V - 低圧 単相2線式 100V	•	
	般 31. フラッシュプレート	図面に特記なき場合、(※ 金属製 (ステンレス・新金属も含む) ・ 樹脂製)とする。	A 6. 高圧機器類	定格遮断電流 kA	INCLESSION (O.D.)	構 3. 布設方法	※ 地中埋設式(・ FEP ・ G	iLT · 厚銅電線管)	 架空線式
- 動力設備 - 電放設備	1 ^	ス ※ 水平高低調節付 (空転防止リング付) ・ 鋼合金製 ・ アルミ合金製	(情) 7. 変圧器	・ 手動 ・ 電動 ・電磁 ・ 単相変圧器 k V A ・ 三村	相変圧器 k V A	内 4. 柱上機器	· 高圧負荷開閉器 ※	· 一般用 · 耐重!	塩じん用
- 雷保護設備 - 受変電設備	33. ハンドホール蓋	県章およびチェーン (ステンレス製) 付のものとする。		(油入式: JIS C4304-2013適合品 乾式: JIS C4	1306-2013適合品)	配	・ 避雷器 ※	・ 地絡継電器付き(※ 方向f・ 一般用 ・ 耐塩用	性 ・ 無方向性)
・電力貯蔵設備 ・発電設備	34. 支持金物, 固定金物 事	屋外の機器及び配管に使用する支持金物(ボルト類)はステンレス製とし、屋外機器のアンカーボルトのナット には、ナットキャップ(樹脂製)を取り付ける。	8. 進相用コンデンサ	※ 低圧 ・ 高圧 ・ 油入式 ・ モールド ・ ガス式		m	高圧カットアウト、がいしなど ※		
- 構内情報通信網設備 - 構内交換設備	項 の * 1 ********************************	また. 振動をともなう機器の支持金物のナットは、ダブルナットとする。 施工方法 - 接着系 (※ 有機系 - 接着剤)	9. リアクトル	· 6% · 13%		5. 高圧ケーブルの 端末処	屋外側 ※ 一般用 · 耐塩用 理 ※ 処理者銘板取付(屋内外共、線名、作		
- 情報表示技術 - 映像: 音響技術 - 地声性機	35. あと施エアンカー	施工方法 接着系 (※ 有機系 接着剤) - 金属拡張系 (※ 本体打込式 ·) 性能・施工確認 ※ 行わない ・ 行う	10. 自動力率制御装置	油入式 ・ モールド※ メーターリレー形 ・ 静止形		6. その他	東北電力(株)外線工事基準(架空線編)	に準ずる。	
- 弘戸の開 - 誘導支援設備 - テレビ共同受信設備	- 36. 接地極の種別・表示等		11. 測定用補助接地極	· 設置		7. 外灯設備	· 定格電圧 V	w	
- ケレス例文目放開 - 監視カメラ政備 - 駐車場等制設備	200200	ただし、D=10は1.000mm、W=30は1.200mmとする。 装柱機器及び屋外灯用接地極の埋設機は不要とする。	1. 直流電源装置	※ 非常用照明器具電源,受変電設備制御電源係	共用 · 受変電設備制御専用 · 非常用照明器具専用	8. 沈下対策	地中線路及びハンドホール等沈下が考慮さ	れる場合は、沈下対策を施す。	, (
- 市場 - 小退室管理設備 - 自動火災報知設備		接 地 の 種 別	電力	善電池 ・ 鉛蓄電池 (・ HS ・ アルカリ蓄電池 (・ AH ・	CS ・ MSE ・ 長寿命形MSE ・)	9. 標識シート	· 高圧ケーブル · 低圧ケーブル		
- 中央監視制御設備 ・構内配電線路 外灯設備を含む		- 雷保護設備用接地 ELA Q以下 EB(D=14又はW=40)×連一組 - 共同接地 EA・ED・ELH 10Ω以下 EB(D=14又はW=40)×3連一2組	版 設 2.交流無停電電源装置	リチウムイオン電池)	10. 予備配管	屋外キュービクルから第1ハンドホールま 分電盤. 動力盤から建物へのハンドホール	での予備配管(FEP100 よでの予備配管(FEP80	: 1本)を設ける。 : 2本)を設ける。
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		・ 共同接地 EA・EC・ED 10Ω以下 EB (D=14又はW=40)×3連-2組 ・ A種 EA 10Ω以下 EB (D=14又はW=40)×3連-2組	備	容量 k V A 蓄電池 ・ 鉛蓄電池 (・ H S ・	CS · MSE · 長寿命形MSE ·)	1. 工事範囲	 管路 配線 		
・その他工事 別紙仕様書による 5. 指定部分 ※ なし ・ あり (エ 期:令和 年 月 日) (対象部分:)]	· B種 EB Q以下 EB (D=14XtW=40)×2 · C種 EC 10Ω以下 EB (D=14XtW=40)×3連−2組 · D種 ED 100Ω以下 EB (D=14XtW=40)×3連−2組		アルカリ蓄電池(・AH・リチウムイオン蓄電池	- AMH -)	内 2. 用途	・電話用 · 時計. 拡声用	- 火災報知用	
6. 概成工期 ※ なし ・ あり (工事工期より 日前) Ⅲ. 特記仕様書			1. 工事範囲	·機器類		信 線 3. 施工方法 略	※ 地中埋設式(· FEP · G	iLT · 厚銅電線管)	• 架空線式
1. 一般事項 (1) 特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編		- I 横内交換機 [機種] 用 Et Ω以下 EB(D=14又はW=40)×3連- 組 - 本配線盤の保安装置 EAt 10Ω以下 EB(D=14又はW=40)×3連-2組 - 電話引込口の保安器 EDt 100Ω以下 EB(D=14又はW=40)×1	2. 形 式	簡易形 ・ キュービクル式 ・屋内形 ・ 屋外形	オープン形・	4. 標識シート	※ 弱電用		
(1) 存成に保管及び回面に記載されているいずが明め、テベト国山大池市内田自庁ョリ品特の政策が「公大連来上寺標子は保管・電光改計上寺橋 令和4年版)、全共建築改修工事標準任務書(電気設備工事編、令和4年版)、国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修の「公共 建築設備工事標準図(電気設備工事編、令和4年版)」による。		- 性部分区口が安全器 EDB 1000以下 EB(D=14又はW=40)×1 - 拡声増幅器 EDB 1000以下 EB(D=14又はW=40)×1 - 防犯装置用 ES Q以下 EB(D=14又はW=40)×3連- 組	3. 発電機	電気方式 相 線式 50Hz 電圧	V 定格出力 kVA 運転時間 時間				
(2)機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事特記仕様書を適用する。なお、機械設備工事	o l	- 測定用 Eo — EB(D=10又はW=30)×1	発 4. 原動機	種類 ・ディーゼル ・ガスタ					
特記仕様書は (/) 図、建築工事の特記仕様書は (/) 図による。 2. 特記事項		 ・ 選書器用(低圧用) ELL 10Ω以下 EB(D=14又はW=40)×3連−2組 ・ 選書器用(高圧用) ELH 10Ω以下 EB(D=14又はW=40)×3連−2組 	電	定格出力 kW以上 (始動方式 ※ 電気式 ・ 空気:	PS以上) 武				
(1) 項目は番号に⊙印の付いたものを適用する。 (2) 物記事項は、○即の付いたものを適用する。○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。		 避雷器用(モデム用) EMD 100Ω以下 EB(D=14又はW=40)×1 構造体接地 建築構造体利用(通信用も含む) 	設	冷却方式 ・ ラジェータ式 ・ 水冷行					
⑤印と⑧印の付いた場合は、共に適用するものとする。	37. 総合調整	各機器の個別運転後に総合調整を行い、報告書を提出すること。	5. 燃料備	燃料小出槽	A重油別途 - 本工事:)				
章 項 目 特 記 事 項 ① 適用基準等 ※ 建設工事執行規則(昭和39年3月宮城県規則第9号)	U7. 46 D M E	受変電設備 発電設備 照明装置 構内交換設備	6. 太陽光発電装置	太陽電池アレイ公称出力 kW		表 2 「機器取付高さ」	図面に特記なき場合は下表による。ただし、これ	によりがたい場合は監督員とt	協議する。
※ 宮城県建設工事元請・下請開係適正化要綱 (最新版) ※ 営縛工事写真撮影要領 (国土交通省大臣官房管庁営縛部監修 令和5年版) 及び工事写真撮影ガイドブックへ電気設備工事稿> (国土交通省大臣官房庁営締部監修 令和5年版)	38. 塗装工事	下記部位に使用する外面めっき電線管の露出配管には塗装を施す。		パワーコンディショナ 相 線式 定格音 自立運転 有 無 蓄電池 有 (定格容量 kV		名 称 取引用計器	別点 取付高 (nm) 地上~窓中心 約 1 800	名 称 引込線留め高	測 点 取付高(mm) 地上~引込点
(2)機材等 ※ 本工事に使用する機材等は、設計図書に規定するもの、またはこれらと同等のものとする。ただし、これらと		※ 屋外 ※ 居室 ·	7. 系統連系	· 有 · 無	···/	電 引込開閉器 力 分電盤	地上~窓中心 約 1,800 床上~中心 1,800~2,200 床上~中心 1,500(上端1,900以下)	電 集合保安器箱 端子盤(廊下、室内)	天井下~上端 200 床上~下端 300
ー 同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。 ※ 本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては、「県有施設のシックハウスマニュアル」に留意し、揮発	39. 山留め	切取り面にその箇所の土質に見合った勾配を保って掘削できる場合を除き、掘削の深さが1.5mを超える場合には、 山留めを行うものとする。	1. 工事範囲		線 (・全部・端子盤以降)	共通		# (EPSなど 話 壁付アウトレット(一 般	(f) 床上~中心 1,500 (g) 床上~中心 300
性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。 ※ 使用する材料のホルムアルデヒド仕様は、日本産業規格及び日本農林規格のF☆☆☆☆規格品、壁装材料協会	40. 舗装工事	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書(建築工事編)22章(舗装工事)及び建築工事監理	2. 電話交換機 構	形式 ・ ボタン電話装置 ・ デジョロ線数 局線 / 回線 内線	ジタルPBX ・IP-PBX ・VoIPサーバ 線 / 回線	スイッチ (一般)	床上~中心 1.300	" (和 室 時 壁掛形親時計	床上~中心 1,500(上端2,000以下)
般 規格適合品または同等品、化学物質等製品安全データシート等にホルマリン不使用が明示されたものとする。3. 機材の品質・性能証明 本工事着手前に機器製作図を提出し、監督職員の承諾を受ける。	41. はつり	指針(下巻)22章 (舗装工事)による。 既存コンクリート床、壁などの配管貫通は、原則としてダイヤモンドカッターによる。	交換 3. 電話機への配線	電話機 1 台につき、下記のものを見込む。 ・ EM-TIEFO 65-2C (2	2 0 m ·)	# (和 室) 電 コンセント(- 般) # (和 室)	" 300	計 子時計 ・ 壁掛形スピーカ 拡 壁付アッテネータ	" 2,300 " 2,300 " 1,300
大・	42. 再使用機器	再使用する機器は、現場内で清掃、絶縁抵抗測定のうえ、取り付ける。	備	• EM-EBTO. 4-2P (• 2	20m ·) 20m ·) 外形寸法約20×8)1.5m	" (相 至) " (台 上) " (ファンド		歯 壁付インターホン(一般 (身体障害者)	# 1,300 京上~中心 1,300 # 1,300
4 保 除 本工事着手前に工事目的物及び工事材料等を、本工事完了後引渡し期日まで火災保険及びその他の保険に付し、			4. ローテンションアウト			" (厨房)" (車庫)	床上~中心 800~1,000 " 1,300	通 <u>壁付アウトレット(</u> 般信 ″ (和 室	
写しを監督職員に提出する。	43. 撤去後の補修等	機器撤去後の天井、壁及び床等の補修は、既存仕上げと同等とする。なお、施工に際し、既存設備及び施設に損傷 を及ぼした場合は、原状に復旧する。	レット (亀甲形)	※ 銅合金製 ・ アルミ製		" (機械室) " (土 間)		設 機器収容箱 備 直列ユニット(一 般)	天井下~上端 200
6. 施工計画書・施工図等 工事の着手に先立ち、工事の総合的な計画をまとめた施工計画書を作成し、監督職員に提出する。	44. アスベスト	アスペストについては、労働安全衛生法 (石総障害予防規則) ・廃棄物処理法等に則り、事前調査を実施し、 調査結果を整理のうえ、監督職員へ報告すること	5. 保安器用接地	※ 本工事 ・ 別途工事		ブラケット(一般) 灯 "(踊場	床上~中心 2,100~2,300 " 2,000~2,500	ッパッパ ツッパ ツェ アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・アイ・ア	(ア) プログライン (ア) (ア) (ア) (ア) (ア) (ア) (ア) (ア) (ア) (ア)
本 本の施工に先立ち、工種別施工要領書及び施工図等を作成し、監督報貢の承諾を受ける。		アスペスト使用状況(1. 工事範囲及び施工方法	項目 配管配料	施 工 方 法 線 機器類 合成樹脂管配線 金属管配線 ケーブル配線	"(鏡 上 避難口誘導灯	床 ト~下端 1 500以上	報 壁付発信機 ベル, ブザー, チャイム	" 2 300
7. 手続き 工事の着手、施工及び完成において、官公署その他関係機関への必要な諸手続き等は監督職員と協議の上、受注 が選滞なく処理する。なお、当該手続きに係る費用は受注者の負担とする。	45. 有害物質の取り扱い	PCB (変圧器、コンデンサ、安定器等)、鉛・カドミウム (鉛蓄電池、小形二次電池等)、水線、放射性物質 (イオン化式感知器等)の有害物質の含有を搬出前に確認し、監督職員に報告書を提出するとともに、その処理方		構内情報通信網 情報表示 映像・音響		廊下通路誘導灯	床上~上端 1,000以下	表 壁付押しボタン(一般) パ (身体障害者玄関	床上~中心 1.300 1) " 900
項 8. 施工条件 別添の施工条件明示書による。		法を監督職員と協議し、関係法令に基づき適正に取り扱うこと。	通	拡声 誘導支援		動壁掛形制御盤	床上~中心 1,500(上端2,000以下)	受信機	床上~中心 800~1,500 " 800~1,500
9. 工事の一時中止 工事務負契約書第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、工事の続行に備え中止期間中におけ 工事現場の管理計画書を提出すること。本計画書には、中止時点における工事の出来高、搬入材料及び建設機械器	具	・ 配管 ・ 配線 ・ 分電盤類 ・ 機器類	-	テレビ共同受信	<u> </u>	カ 電磁開閉器用ボタン 非常ボタン(便所用)	# 1,300 床上~中心 400、900	火 機器収容箱 災 発信機	" 800~1,500 " 800~1,500
等の調書、中止期間中の体制及び工事現場の維持管理に関することを記載すること。 10. 工事実績情報の登録 請負額が500万円以上の場合は、工事実績情報を登録する。	2. 電気方式	- 幹線 単相3線式 100/200V 50Hz - 分岐 単相3線式 100/200V		監視カメラ 駐車場管制設備		身 壁付インターホン(第	現機) " 1,300	報 表示灯 知 ベル	床上~中心 2,100 " 2,300
(CORINS) 受注時、変更時及び完成時にあらかじめ監督職員の確認を受け、登録手続きを行い、工事カルテの受領証を、監督 職員に提出のこと。	電	- 分岐 単相2線式 100V 幹線 - 金属管配線 - ケーブル配線		・防犯・入退室管理 ボックス 合成樹脂製 金属	# · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	者 廊下表示灯(復旧ボタ 用 身障表示ランプ	// 1,500	器 液化石油ガス用検知器 都市ガス用検知器 (軽質	床上~上端 250 (i) 天井~上端 150
11. 事故報告 施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督職員に通報するとともに、「事故報告書」を別に指示する期日まで 監督職員に提出する。	3. 施工方法	分岐 電灯 ・ 合成樹脂管配線 ・ 金属管配線 ・ ケーブル配線 ・ その他 ()	情 2. 構内情報通信網設備	種類 10BASE-T 100 10GBASE-SR 親時計 回線 (※壁掛形	0BASE-TX ・ 1000BASE-T	スイッチ 事1「完成業務」 引き	# 1,100 渡し時には下記の書類を提出する。	// (里頁	t) 床上~上端 250
12. 電気保安技術者 電気工作物に係る工事においては、電気保安技術者を置くものとする。	^	屋外露出 ・ 合成樹脂管配線 ・ 金属管配線 ・ ケーブル配線	報 3. 情報表示設備		・ ロエル / イム組込 ・ ブログラムタイマ組込)	名称	完成書類 部数	名 称	完 成 書 類 部数
13. 工事用電力、水、他 本工事に必要な工事用電力、水などの費用は引渡まですべて受注者の負担とする。	設	ボックス 合成樹脂製 金属製	設 4. 吹冰 自音放照	・ VTR (・ DVD ・ E ・ プロジェクタ (※ 前面投射式 ・ #	BD · S-VHS ·) 背面投射式)	1 完成調書	営繕工事完成引渡要領 1部	6 取扱説明書 A	4版:黑表紙金文字製本 1部
14. 工事用仮設物 構内につくることが ※ できる ・ できない	4. 照明器具	LED ・ 一体型 ・ 直管型(JEL801) ・ 直管型(JEL802) ・ ダウンライト ・ その他	備 5. 拡声設備	一 音響設備 (CD 才 一般放送用 非常放送兼用	オーディオレコーダー ・ ・	2 完成図書	(令和3年4月1日版) A4版:黑表紙金文字製本 1部	①保守に関する案内書 ②機器別取扱説明書	2 完成図書と合本可)
15. 監督職員事務所 ※ 設けない ・ 設ける (号・・・建築工事)			6. 誘導支援設備	・ 増幅器 W (※ 卓上形 ・ インターホン ・ トイレ等呼出装置	キャビネットラック形)音声誘導装置		(機器完成図、取扱説明書と合本可。 ただし、厚さが80mmを越える場合	③緊急連絡先一覧 ④各種保証書	
16. 足場、さん機類 別契約の関係額負者が設置したものは、無償で使用できる。 本工事で設置する。 なお、枠組足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン」 (厚生労働省平成21年4月改訂)			7. テレビ共同受信設備	・ テレビアンテナ (・ AU- ・ C ・ 地上波アンテナマスト (※ 壁面取付形			は分冊とする。)	7 管理の手引き A · ①工事概要書 A ·	4版:チューブ式ファイル 1部
によるものとし、二段手すり及び幅木の機能を有するものでなければならない。	5. 防災用照明器具	非常用照明器具 (※ 電池内蔵形 電源別置形) 誘導灯 (※ LED誘導灯 誘導標識)		BSアンテナマスト(・壁面取付形 ・電界強度測定及び受信調査(※ 全チャン	· 自立形)	3 完成図(縮小)	白焼縮小製本 A3版二つ折り うち1部は設備課保管	②機器完成図 ③機器別取扱説明書	
17. 工事表示板 ※ 設置する 設置枚数 1 枚 営繕工事における工事及びコスト表示要領(平成14年2月6日宮城県土木部営繕課・設備室制定)により設置する。	6. 照度測定	照度測定は、原則、本工事範囲全て行うものとするが、これにより難い場合は監修職員との協議による。	8. テレビ電波障害	· 事前調査 · 機器類				④保守に関する案内書 ⑤緊急連絡先一覧表	
・設置しない	7. ハイテンション	※ 銅合金製・ アルミ製	防除設備 9. 監視カメラ設備	 白黒方式 ※ カラー方式 た芸士士 / マーカス 	t = 1 = 1 = 1	4 完成図・施工図 (電子データ)	JWW又はDXF形式のCADデータ及び C D 2 枚	8 工事写真	486 . # a _ T#P = 7.0
18. 工事用通路 ※ 指定しない ・指定する (図示)	アウトレット	※ 飛び出し形 ・ 外部固定形	10. 駐車場管制設備	伝送方式 (・ アナログ ・ さ管制盤 ・ 検知器 (・ 光線式	ネットワーク) ・ ループコイルギ)			(3	4版:チューブ式ファイル 1部 着手前,施工状況,完成の各写真) 4版:ペーパーファイル 1部
19. 発生材の処理等	8. 人感センサブレート	照明の人感センサ制御を行う部屋には、注意プレートを設置する。	10. 粒平物目刺政團	· 信号灯·警報灯 · 発券機		5 機器完成図 ①機器別完成図	A 4版:黒表紙金文字製本 (2 完成図書と合本可)	②元成子典 一人	+版:ベーバーファイル 1部 完成届に添付
特別管理産業廃棄物 (PCB使用機器) 受入施設名・所在地 :	9. 予備配管	埋込形分電盤からの立上り予備配管は、予備の配線用遮断器が4個以下の場合は(PF22)を1本、5個以上の 場合は(PF22)を2本以上、天井裏まで立上げる。	11. 防犯·入退室管理設備	· 接地工事 (※ 本工事 · 別途)		②機材材質証明書 ③機材検査成績書			
現場において再利用を図るもの(再資源化を図るもの		楽下に配管・配線スペースのない楽には、1スパンにVE(36)2本を予備スリーブとして埋込む。	1. 工事範囲	· 配管 · 配線 · 機器類		④工場試験成績書 ⑤工場立会検査成績書 ⑥現場据付試験成績書		①施工計画書	4版:チューブ式ファイル 1部
種類 受入施設名 所在地(km) 備考	1. 工事範囲	配管 配線 制御盤類	2. 火災報知装置		アドレス)	⑦総合試運転成績書		②施工要領書 ③承諾書·確認書	
	2. 電気方式	- 幹線 三相3線式 200V 50Hz - 分岐 三相3線式 200V	火	・ 複合盤 型 級 回線 (火報 ・ 副受信機 型 級 回線	回線、自動閉鎖 回線、ガス漏れ 回線)			④協議書⑤打合せ議事録⑥工事週報又は日報	
・その他安定型廃棄物(3. 施工方法	幹線 ・ 金属管配線 ケーブル配線 その他 分岐 ・ 合成樹脂管配線 ・ 金属管配線 ・ その他	災		- 露出形) - 屋内消火栓箱に組込み - 自動試験機能付)			①エ争廻報又はロ報 ⑦安全に関する書類 ⑧廃棄物管理票の写し	
受入施設名・所在地 : ・ その他管理型廃棄物 ()	動	古水倒脂音紅線 宝属音紅線 ての他 屋外露出 合成樹脂管紅線 金属管配線 ケーブル配線 ボックス 合成樹脂製 金属製	報 3. 非常警報装置	非常ベル(自動式サイレンを含む)	- 非常放送装置			⊘ル米 ⋈日性ポリテし	
受入施設名・所在地 :			知 4. 自動閉鎖装置	・ 連動制御器 ・ 自動閉鎖装置 (・ 防火戸用 ・	防煙ダンパ用 ・ 防火シャッター用)				
PCBを含有する機器等については飛散、流出がないように適切な場所に保管し、工事完了後監督職員に引き渡す	· 力 4. 警報盤	※ 壁掛形(電源装置 ※ 内蔵 · 別置)							
20. 残土処理 ※ 構内指示の場所に敷き均し 構内指示の場所に堆積 構外搬出	か 5. 電磁開閉器用押釦	※ 壁掛彩(電源装置 ※ 内蔵 別置)※ 埋込連用形配線器具	投	・ 感知器					
20. 残土処理 ※ 横内指示の場所に敷き均し - 横内指示の場所に堆積 - 横外搬出 - 耐雷等でにおける砂礁機関の間管け 「神奈松機関節計・地で排針 2014年前」(1946) 神奈耳空所整体)による	設 5. 電磁開閉器用押釦 (遠方操作用)	※ 埋込連用形配線器具	設 5. ガス漏れ火災警報装置 備	せ 受信機 回線(都市ガス用 単独(壁掛形 自立形)					
20. 残土処理 ※ 横内指示の場所に敷き均し - 横内指示の場所に堆積 - 横外搬出 21. 耐震施工 - 新震施工 - 新震施工 - 新震施工 - 新震施工 - 京本事の施設分割に ・ 対象の施設 - 一般の施設 - ・ 一般の施設 とおりとする。なお、 () 内の微値は防震支持の機器の場合に適用する - 一般の施設	設 5. 電磁開閉器用押釦 (遠方操作用) 備 6. 機器への接続	※ 埋込連用形配線器具 電動機などへの接続は本工事とする。	設 5. ガス漏れ火災警報装置 備	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・ 火災受信機などとの複合盤	<u>注記:機器参考</u>			
20. 残土処理 ※ 構内指示の場所に敷き均し 構内指示の場所に複積 構外搬出 21. 耐震施工 耐震施工における設備機器の固定は、「建築設備制度設計・施工指針 2014年底」((独) 建築研究所整備)による本工事の施設分類は((・特定の施設) で均域係額は1とし、設計用標準水平度度は下表をおとする。なお、() 内の穀土(加速) 大型の穀土(加速) 大型の穀土(加速) 大型の穀土(加速) 大型の穀土(加速) 大型の穀土(加速) 大型の穀土(加速) 大型の穀土(加速) 大型の穀土(加速) 大型の製造 大型の	設 5. 電磁開閉器用押釦 (遠方操作用)	※ 埋込連用形配線器具	設 5. ガス漏れ火災警報装置 備	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	 ・ 火災受信機などとの複合盤 V ・ DC24V) 	本図面中で 参考図として	. 機器の品質・グレードを規定する目的で機器の 記載している。		
20. 残土処理 機内指示の場所に敷き均し 構内指示の場所に複雑 構外搬出 21. 耐震施工 耐震施工における設備機器の固定は、「建築設備制度設計・施工指針 2014年版」((独) 建築研究所整件)によるようとする。 なお、四の整備は防電大の電影の 1つ で地域係設は とし、設計用標準水平度度は下表をおしている。 なお、四の整備は防電大の電影の場合に適用する。 一般の施設と選場所 様式の施設 「株式の施設 ・	数 5.電磁開閉器用押釦 (適方操作用) 備 6.機器への接続 7.電動機等の接地	※ 埋込連用形配線器具 電動機などへの接続は本工事とする。 図示以外は金属管接地とする。 各負荷ごとに連合するコンデンサを取り付ける。 は 機器類	設 6. ガス漏れ火災警報装置 6. 消火器類	・ 受信機 回線(・ 都市ガス用 ・ 単独(・ 壁掛形 自立形) ・ 検知器 ・ 併設 ・ 連動 ・ 定格電圧 (・ AC100)	・ 火災受信機などとの複合盤V - DC24V)方式 - 無電圧接点方式)本	本図面中で 参考図として これらのも	機器の品質・グレードを規定する目的で機器の		
20. 残土処理 横内指示の場所に敷き均し - 横内指示の場所に堆積 - 横外搬出 耐震施工における設備機器の間定は、「建築設備制置設計・施工指針 2014年版」((独) 建築研究所整飾)による 本工事の施設分類は(、特定の施設 で地域係数は1とし、設計機構水平震度は下表 全約とする。在4. 一段の整値は防震支持の機器の場合に適用する。	2 (塩の) (塩の) (塩の) (塩の) (塩の) (塩の) (塩の) (塩の)	※ 埋込連用形配線器具 電動機などへの接続は本工事とする。 図示以外は金属管接地とする。 各負荷ごとに適合するコンデンサを取り付ける。	6. 消火器類		・ 火災受信機などとの複合盤V - DC24V)方式 - 無電圧接点方式)本	本図面中で 参考図として これらのも	. 機器の品質・グレードを規定する目的で機器の 記載している。 のについては、その品質・性能が図面と同等品も		図面番号
20. 残土処理 探内指示の場所に敷き均し 構内指示の場所に地積	お (塩の) (塩の) (塩の) (塩の) (塩の) (塩の) (塩の) (塩の)	 * 埋込連用形配線器具 電動機などへの接続は本工事とする。 図示以外は金属管接地とする。 各負荷ごとに適合するコンデンサを取り付ける。 機器類 普通充電装置 電圧 相 V ・屋外型 ・屋内型・ 急速充電装置 直流電圧 V 	信 6. 消火器類 宮城県仙台市青葉区本町三丁目電話 022-211-3267		・ 火災受信機などとの複合盤 V ・ DC24V) 方式 ・ 無電圧接点方式) 本 ・ 数量 面	本図面中で 参考図として これらのも	. 機器の品質・グレードを規定する目的で機器の 記載している。 のについては、その品質・性能が図面と同等品も	しくはそれ以上の	図面番号
20. 残土処理	2 (塩の) (塩の) (塩の) (塩の) (塩の) (塩の) (塩の) (塩の)	※ 埋込連用形配線器具 電動機などへの接続は本工事とする。 図示以外は金属管接地とする。 各負荷ごとに適合するコンデンサを取り付ける。 1 機器類 ・ 書通元電装置 電圧 相 V - 屋外型 - 屋内型	信 6. 消火器類 宮城県仙台市青葉区本町三丁目	一 契信機 回線(都市ガス用 · 単独 · 壁掛形 · 自立形) · 按知 · 建勤 · 按数 · 建勤 · 定格堡丘 · A C 1 0 0 0 · ガス検知出力信号(· 有電圧出力が - ガス接知出力信号(· 有電圧出力が - オス器 ·	・ 火災受信機などとの複合盤 V ・ DC24V) 方式 ・ 無電圧接点方式) 本 ・ 数量 面	本図面中で 参考図として これらのも	. 機器の品質・グレードを規定する目的で機器の 記載している。 のについては、その品質・性能が図面と同等品も	しくはそれ以上の	図面番号